

# CASBEE<sup>®</sup>さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホームフォレスト浦和	階数	地上3F
建設地	浦和区常盤8丁目14番1、14番3、14番5	構造	木造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防音地域	平均居住人員	300人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	学校、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年12月1日
敷地面積	4,146 m <sup>2</sup>	作成者	㈱奥野設計
建築面積	2,187 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	5,412 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 高効率機器、LEDを採用することにより、設備システムの高効率化に努めた。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 内装材料のほぼ全面にF☆☆☆☆を採用し、さらにVOCの含有量の少ない建築材料を使用するよう努めた。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 植栽や芝を設けることにより、良好な景観を形成した。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱材を強化し、建物の熱負荷抑制に考慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水機器、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。 躯体と仕上材、設備が容易に分別できるよう計画した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 利用者車両と管理用車両の導入路を分けることにより、渋滞の緩和に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される